





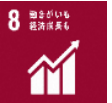


## 旅行業

一般的な旅行業として創業40年を経て、これからの地域や社会に役に立てる新しい旅行業を模索していたところ、観光業はSDGsの目標やターゲットの中に固有名詞がでてくる唯一の産業で、その中心を担う旅行業は、SDGs目標達成に大きな影響を与える仕事だということを知りました。これからはSDGsの推進は世界的な潮流になり、その意義を理解しSDGsを意識した経営に積極的に取り組んでいかなければならないと思います。旅行業は夢や思い出や非日常性を求める形のない商品やサービスを扱うのでSDGsへの関わり方は難しいのですが、SDGsを意識した経営を実施したり、ツアーにSDGsを取り入れたり、重要性を啓蒙するツアーを企画実践したりして積極的に関わっていきたいと思います。

|  |   |
|--|---|
| <p><b>【目標1】</b><br/>SDGsがなぜ必要か、掲げる問題の現状と解決への取り組みを知り、SDGsの必要性を理解してもらう。</p>  |    |
| <p><b>【主な取り組み】</b><br/>国交省・環境省・農水省の情報を活用し、問題、課題の解決に取り組んでいる事例を訪ね、視て聴いて知る事のできる、楽しく学べるリアルSDGsツアーの実施</p>   |   |
| <p><b>【目標2】</b><br/>多様な人たちが、安全で心地よく楽しめるユニバーサルツアーの研究及び企画・実施により誰もが等しく旅を楽しむことができるようにする。また、着地型ユニバーサルツアーで観光・交流人口を増やし、そのデータをユニバーサルシティの町づくりに役立てる。</p>   |     |
| <p><b>【主な取り組み】</b><br/>体の都合で旅ができない人に旅をしていただくオンラインツアーを、旅のしにくい人に行きたいところに行けるユニバーサルツアーを研究し、誰でも等しく楽しい旅ができる体制をつくる。また、富山国際大学の情報を活用し、着地型のユニバーサルツアーを研究、企画・実施し観光・交流人口を増やし、データをユニバーサルシティの町づくりに役立てる。</p> |   |
| <p><b>【目標3】</b><br/>近い将来に高齢者、障がい者、女性、外国人その他多様な人たちが一緒に働ける創造的な職場づくりを目指す。</p>   |     |
| <p><b>【主な取り組み】</b><br/>それぞれの立場で人や会社や地域の課題解決に役立つツアーの造成を手掛ける専門セクションを作り、深掘りしていきながらそれぞれの価値を探る。</p>   |   |

## 高岡を持続可能なまちにするために

- ①高岡への着地型ユニバーサルツアー(多様性を楽しむツアー)を実施し、ツアーを通して障がい者や高齢者、あるいは女性や子供に対しての町のユニバーサルデザインの現状や課題を知る。  
収集したデータ等を富山ユニバーサルセンター等の関係団体と協力しながら分析し、誰もが訪れやすい暮らしやすい町づくりに活かす。(10-2,10-3,11-3)
- ②なるべくCO2を出さない旅のモデルとして  
氷見線、城端線、万葉線の活用と自転車を組み合わせる旅を研究、企画・実践し、SDGs推進とローカル線の活用の全国のモデル例としてPRし、観光・交流・関係人口の増加を増やす。(7-2)
- ③インバウンド対応商品として高岡を含む着地型ツアーをSDGsを考慮した内容にリメイクし、その意義や内容に興味を持って訪れる外国人観光客を積極的に受け入れ、地産地消や多様な人材の雇用、観光業のSDGsモデル地区となり全国のモデルを造る。(8-9)